

佐世保市の歴史（明治19年から昭和34年）

和暦	西暦	出来事
明治19年	1886年	・第三海軍区佐世保鎮守府の設置が公布される
明治22年	1889年	・佐世保鎮守府が開庁する
明治23年	1890年	・海軍の構内に造船部が設置される (現在の佐世保重工業株式会社)
明治31年	1898年	・九州鉄道佐世保支線が開通する
明治35年	1902年	・佐世保村の横尾免、山中免、熊ヶ倉免及び折橋免字山ノ田を分割して佐世村を設置する ・市制を施行し佐世保市となる ・第1回の市議会議員選挙が行われる
明治37年	1904年	・日宇福石免のうち15字を市に編入する
明治38年	1905年	・市内で電話が架設され電話交換業務が開始する
明治39年	1906年	・市内に初めて電灯が灯る
明治40年	1907年	・旧字名を改称し、新たな町名を実施する(55町8免となる)
明治41年	1908年	・上水道の給水を開始する
大正 元年	1912年	・佐世保市に大洪水が発生し、浸水家屋は3400戸 ・市内でガス供給事業が開始する
大正 7年	1918年	・佐世保軽便鉄道株式会社が設立する
大正 9年	1920年	・西肥自動車株式会社が創設される ・市立実費診療所が設置される(市民病院の前身となる)
昭和 2年	1927年	・市営の自動車事業が開始する ・佐世村と日宇村が佐世保市に編入する
昭和13年	1938年	・北松浦郡相浦町を佐世保市に編入する
昭和17年	1942年	・早岐町、大野町、中里村、皆瀬村を佐世保市に編入する
昭和20年	1945年	・国有鉄道として松浦線が全線開通する ・空襲により市街の大半が焼失する ・終戦となり佐世保鎮守府は解体され市の人口が半減する
昭和21年	1946年	・海仁会病院を買収して市民病院とし、また従来市民病院は北分院と改称する ・佐世保船舶工業株式会社が設立する
昭和22年	1947年	・新制の小学校と中学校が発足する ・長崎県の佐世保出張所が平瀬町に設置される
昭和23年	1948年	・佐世保港が貿易港に指定される ・佐世保市消防署が発足する ・佐世保市警察署が発足する ・長崎県の保健所が佐世保市に移管される ・佐世保海上保安部が設置される ・市内全域で豪雨が発生、被害は甚大で死者は40名 ・佐世保港が貯油港に指定される
昭和25年	1950年	・長崎大学水産学部が佐世保市に移転する ・旧軍港市転換法の施行について住民投票を実施する

昭和26年	1951年	・長崎県立佐世保商科短期大学が創立する
昭和27年	1952年	・佐世保が米海軍基地に指定される ・佐世保市教育委員会が発足する
昭和28年	1953年	・海上警備隊佐世保地方総監部が設置される(現在の海上自衛隊佐世保地方総監部)
昭和29年	1954年	・北松浦郡柚木村と黒島村を佐世保市に編入する ・長崎放送ラジオが佐世保で開局する ・佐世保市警察署が廃止され、長崎県警察として発足する
昭和30年	1955年	・西海国立公園の指定が告示される ・佐世保駅前広場が完成する ・東彼杵郡折尾瀬村、崎針尾村、江上村を佐世保市に編入する ・集中豪雨で佐世保炭鉱のボタ山が崩れ炭住6棟が埋没、死者は73名であった ・西海橋が開通する ・相浦陸上自衛隊駐屯部隊が設置される
昭和31年	1956年	・川谷ダムが完成する
昭和32年	1957年	・佐世保市国民健康保険事業を実施する
昭和33年	1958年	・東彼杵郡宮村が佐世保市に編入して194町となる ・NHK佐世保テレビジョン局が開局する
昭和34年	1959年	・董浩雲氏に佐世保市初の名誉市民章が授与される ・老人福祉センター「おきな荘」がオープンする

佐世保市の歴史（昭和35から昭和50年）

和暦	西暦	出来事
昭和35年	1960年	・中田正輔氏に名誉市民章が授与される
昭和36年	1961年	・石岳から鹿子前までの観光道路が完成する ・佐世保市亜熱帯動植物園がオープンする
昭和37年	1962年	・市民会館が完成する ・佐世保市立竹辺学園が開園する(精薄児通園施設)
昭和38年	1963年	・県北支庁が廃止され、県北開発振興局が設置される
昭和39年	1964年	・東山手線(バイパス)が開通する ・米原子力潜水艦が佐世保港に初めて入港する
昭和40年	1965年	・十郎原団地に十郎新町誕生し、195町となる ・鯨瀬ふ頭が完成する
昭和41年	1966年	・救護施設「八天荘」がオープンする ・養護施設「天心寮」がオープンする ・佐世保市営結婚式場がオープンする ・国道35号線日宇バイパスが開通する ・山口喜久一郎氏に、名誉市民章が授与される ・北村徳太郎氏に、名誉市民章が授与される ・私立九州文化学園短期大学が創立する ・四ヶ町商店街アーケードが完成する ・米国アルバカーキ市と姉妹都市を提携する
昭和42年	1967年	・佐世保地方の集中豪雨で甚大な被害が発生、死者29名 ・国鉄柚木線が廃止される
昭和43年	1968年	・アメリカの原子力空母「エンタープライズ」が初めて佐世保港に入港、佐世保事件が起きる ・佐世保市の花に「夾竹桃」が決まる ・相浦総合グラウンドが完成する
昭和44年	1969年	・楠本端山旧宅と岩下洞穴遺跡が長崎県の史跡文化財に指定される ・国道35号線、早岐バイパスが開通する ・下の原ダムが完成する ・烏帽子岳に青少年の天地が開所する ・佐世保・相浦循環道路(SSKバイパス)が開通する ・第24回国民体育大会 夏季大会が本市で開催する ・SSK佐世保造船所に40万トンのドックが完成する
昭和45年	1970年	・佐世保市文化財保護条例が制定される ・老人福祉センター「やすらぎ荘」がオープンする
昭和46年	1971年	・国立佐世保総合高等職業訓練校が創立する ・烏帽子町と卸本町が誕生し、町数が197町となる ・市営陸上競技場が総合グラウンド内に完成する ・佐世保地域が広域市町村圏に指定される ・山中辰四郎氏に、名誉市民章が授与される
		・老人身体障害者憩の家「いでゆ荘」がオープンする

昭和47年	1972年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民霊園の開園式が行われる</li> <li>・佐世保市立総合病院が発足する(市民病院と北病院を統合)</li> <li>・市民霊園に市民斎場が落成する</li> <li>・労働福祉センターが落成する</li> <li>・交通公園センターがオープンする</li> <li>・藤井友市氏に、名誉市民章が授与される</li> <li>・万津ターミナルビルが落成する</li> </ul>
昭和48年	1973年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民憲章が制定される</li> <li>・佐世保広域消防体制がスタートする</li> <li>・プラネタリウム館が完成する</li> <li>・初めて丁制を採用し、花高1丁目、花高2丁目、花高3丁目、花高4丁目が誕生する(市内の町数が201となる)</li> <li>・崎辺地区の返還が決定する</li> <li>・桜木町に長崎県下初の身障者専用の住宅が落成する</li> </ul>
昭和49年	1974年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立コロニーの第1期工事が完成する</li> <li>・市庁舎が竣工する</li> </ul>
昭和50年	1975年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日急病診療所が開設する</li> <li>・高齢者職業相談室を市役所に設置する</li> <li>・鹿子前新道が開通する</li> </ul>

佐世保市の歴史（昭和51から昭和59年）

和暦	西暦	出来事
昭和51年	1976年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国アルバカーキ市の親善団が本市を訪問する</li> <li>・国鉄佐世保線と長崎線の電化工事が完成する</li> <li>・県北会館がオープンする</li> <li>・馬郡喜八氏に、名誉市民章が授与される</li> </ul>
昭和52年	1977年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うそ越清掃工場不燃ゴミ処理センターが完成する</li> <li>・稲荷町に清掃センターが完成する</li> <li>・江永治水ダムが竣工する</li> <li>・商店街サンプラザのアーケードが完成する</li> <li>・国見有料道路が開通する</li> </ul>
昭和53年	1978年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八幡町に社会福祉センターが完成する</li> <li>・永野重雄氏（日本商工会議所会頭）に名誉市民章が授与される</li> <li>・三川内焼が国の伝統的工芸品に指定される</li> <li>・県立佐世保養護学校が発足する</li> <li>・ニミツパークの一部が返還される</li> <li>・原子力船「むつ」が入港する</li> <li>・浅子地区と高島地区に海底送水管が敷設される</li> <li>・坂田重保氏に、名誉市民章が授与される</li> </ul>
昭和54年	1979年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米軍CPビル一帯が正式に返還される</li> <li>・多目的運動広場が総合グラウンド内に完成する</li> <li>・早岐東部住民センターが落成する</li> <li>・鹿子前観光ターミナルが落成する</li> <li>・早岐の総合庁舎が完成する</li> </ul>
昭和55年	1980年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新鹿子前トンネルが開通する</li> <li>・稲荷町刑務所跡地へ児童センターが開館する</li> <li>・三川内陶磁器卸団地が完成する</li> <li>・佐世保川にアルバカーキ橋の架橋が完成する</li> <li>・サンライフ佐世保（長崎中、高齢労働者職業福祉センター）が完成する</li> <li>・辻一三氏に、名誉市民章が授与される</li> </ul>
昭和56年	1981年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大野児童センターが落成する</li> <li>・佐世保市振興体育館が落成する</li> <li>・東部住民運動広場が完成する</li> <li>・フィールドアスレチック冒険の森が完成する</li> <li>・浦頭埠頭の1期工事が完成する</li> </ul>
昭和57年	1982年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒髪児童センターが落成する</li> <li>・市立浅子小学校と中学校の新校舎が完成する</li> <li>・中国景德鎮市の陶磁器視察団が本市を表敬訪問する</li> <li>・三川内焼伝統産業会館が落成する</li> <li>・原子力船「むつ」が出港する</li> <li>・観光船「海王」が就航する</li> <li>・中国福建省友好代表団が本市を表敬訪問する</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐世保港と米カリフォルニア州サンディエゴ港が姉妹港を提携する</li> </ul>
昭和58年	1983年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉センター「つくも荘」がオープンする</li> <li>・市立広田小学校の新校舎が落成する</li> <li>・アメリカの原子力空母「エンタープライズ」が再び佐世保港へ入港する</li> <li>・佐世保市体育文化館が落成する</li> <li>・佐世保市博物館島瀬美術センターが落成する</li> <li>・原子力船展示館が落成する</li> <li>・アメリカの原子力空母「カール・ビンソン」が入港する</li> <li>・佐世保市と中国福建省廈門市が友好都市を締結する</li> <li>・早岐瀬戸大橋が開通する</li> <li>・天神1丁目、天神2丁目、天神3丁目、天神4丁目、天神5丁目が生じ、市内の町数が207町となる</li> </ul>
昭和59年	1984年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相浦西小学校が創立する</li> <li>・崎辺中学校が創立する</li> <li>・佐世保相浦循環線道路整備事業で中里町付近が竣工する</li> <li>・武雄・佐世保道路第1期工事(波佐見から大塔)が着工する</li> </ul>

佐世保市の歴史（昭和60から平成14年）

和暦	西暦	出来事
昭和60年	1985年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナガサキ・テクノポリス構想が国の地域指定を受ける</li> <li>・老人福祉センター「あたご荘」がオープンする</li> <li>・新佐世保橋が竣工する</li> <li>・瀬戸越1丁目、瀬戸越2丁目、瀬戸越3丁目、瀬戸越4丁目誕生し、市内の町数が211町となる</li> </ul>
昭和61年	1986年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浦頭引揚記念平和公園が落成する</li> <li>・佐世保勤労身体障害者教養文化体育施設「サン・アビリティーズ佐世保」がオープンする</li> <li>・西山手上部線が竣工する</li> <li>・米国アルバカーキ市との姉妹都市締結20周年を記念し、アルバカーキ市へ佐世保市の市民使節団が親善訪問をする</li> <li>・姉妹都市である米国アルバカーキ市の親善団が本市を訪問する</li> <li>・本市が緑の都市賞で「内閣総理大臣賞」を受賞する</li> </ul>
昭和62年	1987年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐世保市水産センターが大湊町に新しく完成する</li> <li>・北地区公民館と春日児童センターが完成する</li> <li>・行政資料閲覧コーナーを市役所に開設する</li> <li>・佐世保公園内に温水プールが完成する</li> <li>・佐世保市中心身障害者福祉センターが完成する</li> <li>・早岐1丁目、早岐2丁目、早岐3丁目誕生し、市内の町数が214となる</li> <li>・佐世保市情報公開条例が施行される</li> </ul>
昭和63年	1988年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3セクターとして松浦鉄道(MR)が発足する</li> <li>・江上大島橋が完成し開通、手ぐり舟の姿が消える</li> <li>・佐世保市がオーストラリアのコフスハーバー市と姉妹都市を提携する</li> </ul>
平成 元年	1989年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成元年度国際交流のまち推進プロジェクト実施市町村に本市が指定される</li> <li>・広田1丁目、広田3丁目、権常寺1丁目誕生、早岐町が廃止となり、市内の町数が216となる</li> </ul>
平成 2年	1990年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広田2丁目、広田4丁目、若竹台町、星和台町誕生し、市内の町数が220となる</li> </ul>
平成 3年	1991年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分県九重町と姉妹都市を提携する</li> <li>・ハウステンボス町誕生し、市内の町数が221となる</li> <li>・針尾・大崎公園が完成する</li> </ul>
平成 4年	1992年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早岐地区・大野地区・中里地区・皆瀬地区で、佐世保市合併50周年式典が開催される</li> <li>・ふるさと創生事業が発足する</li> </ul>
平成 5年	1993年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・烏帽子岳「スポーツの里」がオープンする</li> <li>・三川内新町誕生し、市内の町数が222となる</li> <li>・福祉施設特別養護老人ホーム「やまずみ荘」がオープンする</li> <li>・佐世保独楽が長崎県の伝統工芸品に指定される</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・もみじが丘町誕生し、市内の町数が223となる</li> <li>・市立図書館が新築オープンする</li> <li>・琴平小学校と御船小学校の2小学校が統廃合して金比良小学校が創立する</li> </ul>

平成 6年	1994年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大塔小学校が創立する</li> <li>・「西海パールシーリゾート」がオープンする</li> <li>・異常湧水により給水制限が行われる(平成6年8月1日から平成7年4月25日)</li> <li>・本市が地方拠点都市地域に指定される</li> </ul>
平成 7年	1995年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐世保駅周辺鉄道高架事業の起工式が執り行われる</li> <li>・佐世保地域広域市町村圏組合が設立する</li> </ul>
平成 8年	1996年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉福寺洞窟の出土品(豆粒文土器など多数)が国の重要文化財に指定される</li> <li>・広田地区公民館と広田児童センターが完成する</li> <li>・佐世保市うつわ歴史館がオープンする</li> <li>・7月19日から10月13日、世界「炎の博覧会」が開催され、三川内とハウステンボスがサテライト会場となる</li> <li>・旧NHK庁舎に「ふれあいセンター」がオープンする</li> <li>・アルバカーキ市との姉妹都市締結30周年を記念し、アルバカーキ市へ市民使節団が親善訪問する</li> </ul>
平成 9年	1997年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小塚岳トンネル(県道栗木・吉井線)が開通する</li> </ul>
平成10年	1998年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引揚港となった佐世保を偲ぶ全国の集いが開催する</li> <li>・西九州自動車道佐世保道路(「佐世保みなと」から「佐世保大塔」間)が開通する</li> <li>・黒島天主堂が国の重要文化財に指定される</li> <li>・西海パールラインが開通する</li> </ul>
平成14年	2002年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐世保市制施行百周年を迎える</li> </ul>